第21期（2023年 9月期）
第２四半期

決算説明資料

アイビーシー株式会社

証券コード　3920

2023年 5月 25日

AGENDA

1. 第21期　第２四半期 連結決算概要
2. 第21期　トピックス
3. 第21期　業績予想

○ Appendix

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

1

第21期 第２四半期
連結決算概要

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

第21期 第２四半期 連結決算概要

（単位：百万円）

	22/9期第２四半期 連結累計期間	23/9期第２四半期 連結累計期間	前年同期比	23/9期 連結予想	進捗率
売上高	710	**858**	+20.9%	1,900	45.2%
売上総利益	466	**608**	+30.3%	–	–
販売管理費	499	**505**	+1.2%	–	–
営業利益 （利益率）	△33 （△4.7%）	**102** （11.9%）	–	200 （10.5%）	51.0%
経常利益	△17	**116**	–	220	52.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	△11	**79**	–	147	53.7%

■ サーバー供給の状況が正常に戻りつつある中、「System Answer シリーズ」の機能拡張を機とした既存顧客へのサポート強化等の施策や昨年度より実施していたパートナービジネスの強化が功を奏したことによるライセンス売上の増加を主たる要因とし、当初見込みを上回る増収増益。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

第21期 売上内訳（単体）

（単位：百万円）

	22/9第２四半期	23/9第２四半期	前年同期比
ライセンスの販売	250	**356**	+42.8%
サービスの提供	251	**319**	+26.9%
その他物販等	147	**128**	△12.6%
合　計	648	**805**	+24.1%

全体で当初想定を上回る増収、為替及び物価上昇による物販減の一方、ライセンス・サービスは堅調

■ **ライセンスの販売**

サーバー供給の状況が正常に戻りつつある中、「System Answerシリーズ」の機能拡張を機とした既存顧客へのサポート強化等の施策や昨年度より実施していたパートナービジネスの強化が功を奏し42.8%増。

■ **サービスの提供**

ITインフラを中心としたインテグレーション等に係る既存顧客からの案件の増加により26.9%増。

■ **その他物販等**

為替や世界的な物価上昇を反映した製品及び商品価格の上昇を受け、顧客が慎重な投資姿勢に転じた影響等により12.6%減。

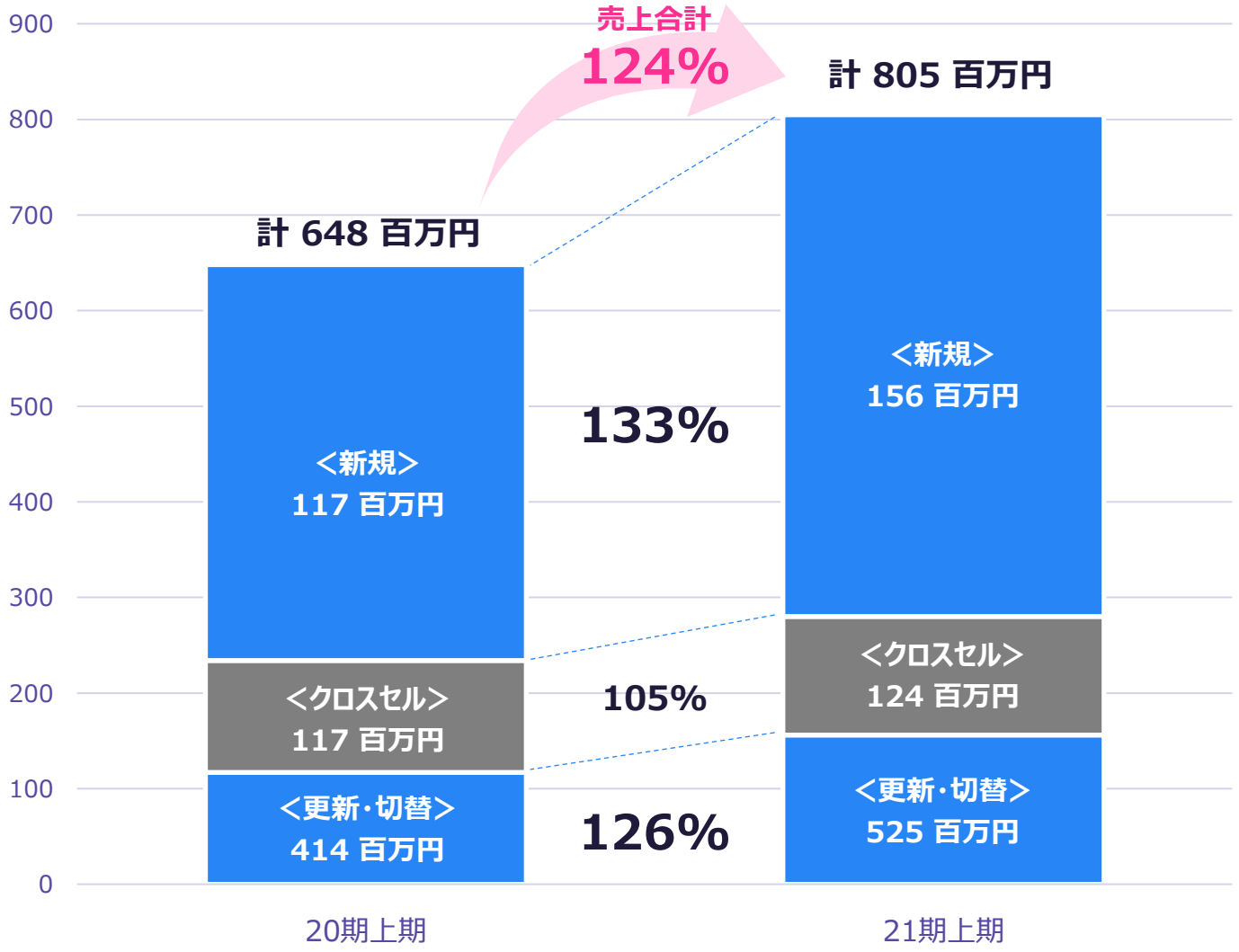
© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

分析 - 20期上期売上との比較（IBC単体）

<売上の内訳>

■ **21期上期売上805百万は**
対前年比124%伸長

- 販売パートナー様との連携強化により**新規**のお客様からの売上が133%増
- 既存のお客様の**更新・切替**の維持とアップセルの増加により126%増

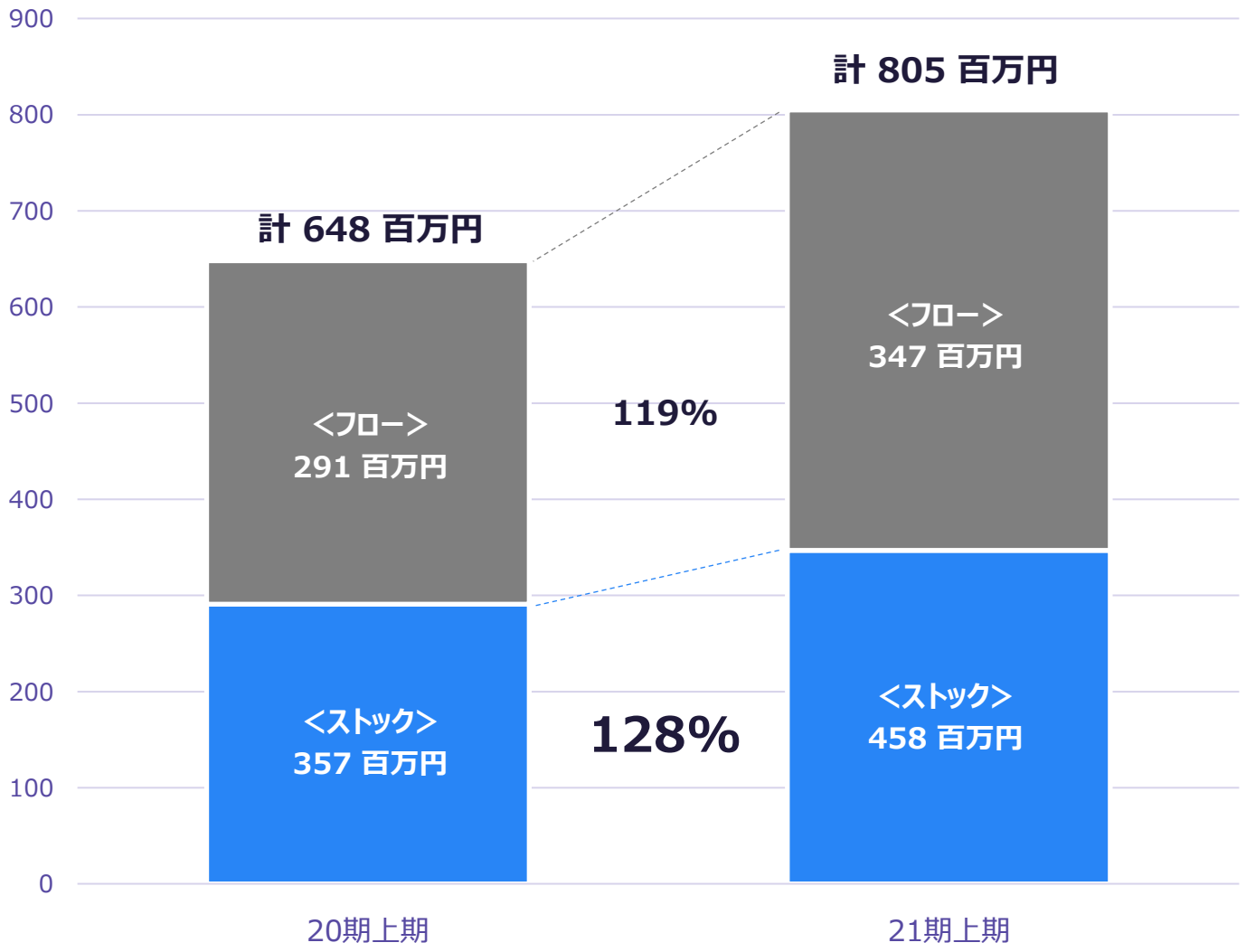


© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

分析 - 20期上期売上との比較（IBC 単体）

<フロー/ストックの内訳>

■ **ストック**売上の増加（128 %）に伴う経営の安定化



© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

第21期 第２四半期末 連結貸借対照表

（単位：百万円）

	22/9期末連結	23/9第２四半期末連結	前期末差額
流動資産	2,200	**2,171**	△29
（内、現金及び預金）	1,406	**1,499**	+93
固定資産	1,055	**1,022**	△32
資産合計	3,255	**3,194**	△61
流動負債	1,251	**1,227**	△23
固定負債	173	**110**	△62
負債合計	1,424	**1,338**	△86
株主資本	1,724	**1,782**	+57
その他	106	**73**	△33
純資産合計	1,830	**1,855**	+24
負債純資産合計	3,255	**3,194**	△61

- 現預金が93百万円増加の一方、契約の単年度化進展に伴う売掛金減少77百万円及び法人税還付50百万円により資産全体は減少。
- 未払法人税39百万円増加の一方、長期借入金の約定弁済による減少57百万円等により負債減。
- 有価証券評価差額33百万円減少の一方、利益剰余金増加57百万円により純資産24百万円増。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

第21期 連結キャッシュフロー

	22/9第２四半期　連結	23/9第２四半期　連結	前年同期差額
営業キャッシュ・フロー	97	**195**	+97
投資キャッシュ・フロー	△184	**△20**	+163
財務キャッシュ・フロー	19	**△81**	△101
配当金（円）	–	**–**	–

■ **連結キャッシュフロー**

- 営業キャッシュ・フローは、未払金の減少39百万円及び棚卸資産の増加28百万円により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益116百万円、売上債権の減少77百万円、法人税等の還付50百万円により資金が増加したことにより前年同期比+97百万円の195百万円。
- 投資キャッシュ・フローは保険積立金支出16百万円に加え、System Answer機能強化に伴う無形固定資産支出13百万円等により前年同期比+163百万円の△20百万円。
- 財務キャッシュ・フローは長期借入金の約定弁済59百万円、配当金支払の21百万円等により、前年同期比△101百万円の△81百万円。

■ **配当**

- 第２四半期累計期間までは好調に推移しているものの、経済環境変化等を勘案し、中間配当は見送り、期末における対応を検討（第20期は当社創業20周年記念として、2022年９月期配当は１株あたり4.0円）。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

2 第21期 トピックス

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

トピックス 一覧

1 商品力の強化

- IT障害119アドバイザリーサービス提供開始
- 富士通社「Systemwalker Centric Manager」との連携機能
- セキュリティ分野でのサポート領域拡大
- CX（カスタマーエクスペリエンス）を視覚化する新機能の提供

2 Interop出展 / ShowNet参加

3 ホームページの強化と効果

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

IT障害119 Advisory サービス提供開始
(2023 年 1 月～)

- IT システムの性能監視に長年携わってきたノウハウを活かし、IT 障害が発生した際の原因究明や対策を支援
- 一般的な保守サービスでは対応していない **IT インフラ全体を考慮**し、お客様に寄り添ったテクニカルサポートサービスを提供

根本原因の調査

セキュリティインシデントの初動対応

よろず相談

※「IT障害119アドバイザリー」は、IBC が提供する次世代 MSP サービス「SAMS」のオプションサービスです。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

Systemwalker との連携機能を提供開始（2023 年 2 月～）

アイビーシーが開発・販売するシステム情報管理ソフトウェア「System Answer G3」において、富士通株式会社が開発・販売する「Systemwalker Centric Manager」との連携機能を提供開始

富士通社 Systemwalker

- **サーバー、ストレージ、クラウドの運用管理**
- **システム運用管理とICT資産管理の統合**

IBC System Answer G3

- **ネットワークの運用管理**
- **IT障害をゼロにする多数の分析機能**
  （キャパシティ予知、昨対比較、傾向把握 等）

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

セキュリティ分野でのサポート領域拡大（2023 年 1 月より順次拡大）

お客様の求めるレベルのセキュリティ対策を、より手厚く、一気通貫でご支援可能に

	攻撃前の対策	境界でのブロッキング	横展開の検知	発生時の対応	調査
サポート領域	■ 脆弱性診断 ■ ファイアウォールログ解析	■ 各種ファイアウォール等 ■ クラウド型 WAF ■ WAF 自動運用	■ ふるまい検知		■ フォレンジックサービス
新たに拡大した項目	■ **公開情報管理**		■ **次世代アンチウイルス**	■ **EDR** ■ **初動対応**	■ **ログ調査**
ソリューション	IBC-SAS tenable IT障害119 Advisory	IBC-Integration 攻撃遮断くん Waf Charm	Progress Flowmon ADS CROWDSTRIKE Falcon Prevent : NGAV (New Generation Anti Virus)	CROWDSTRIKE Falcon Insight : EDR (Endpoint Detection and Response) IT障害119 Advisory	CROWDSTRIKE Falcon Insight : EDR (Endpoint Detection and Response)

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

❷ 商品力の強化 - 4

CX（カスタマーエクスペリエンス）を視覚化する新機能の提供 （2023 年 5 月 25 日 ～）

システム情報管理ソフトウェア「System Answer G3」の新たな機能「**CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション**」の β 版を、Interop Tokyo 2023 にて展示

情シスのミッションである **ユーザー満足度の向上** に貢献

ユーザーのパソコンやスマートフォン等のクライアントから、クラウドサービスや Web サービス等までの**応答時間（レスポンス）**の見える化により、

① ユーザーの体感時間の把握・改善によるサービスレベルの向上

② ボトルネック個所の特定・見直しによるネットワーク品質の向上

③ 障害時の復旧時間の短縮

※「CX 監視オプション」は、2023 年 9 月（System Answer G3 v03.28-00）より提供予定です。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

❷ Interop 23 Tokyo JUNE 14-16 MAKUHARI MESSE, JAPAN 出展 / SHOWNET Over the Premise 参加

2023 年 6 月14 日（水）～ 16 日（金）に 幕張メッセで開催される Interop Tokyo 2023 に出展します。

Interop Tokyoは、国内外から数百のインターネットテクノロジーを扱う企業・団体が参加し、技術動向とビジネス活用のトレンドを、会場でのデモンストレーションやセミナーを通じてお伝えするイベントです。

＜今回の展示の目玉＞

・CX（カスタマーエクスペリエンス）監視オプション

・IT 障害 119 アドバイザリーサービス

ShowNet について

Interop Tokyo の基盤となる ShowNet は、さまざまな機器が集まり、相互接続を実現する、最新技術を用いた世界最大級のライブデモンストレーションの場です。IBC は例年コントリビューターとして参加しています。

ShowNet 2022 監視実績

514 ホスト

63,146 項目

System Answer G3 で ShowNet NOC 環境の統合監視を実現

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

❸ ホームページの強化と効果

デジタルマーケティングの領域を強化し、お客様へ IBC の活動を訴求

＜主な強化ポイント＞

■ **イメージキャラクターの活用**

2023 年 2 月 1 日より、企業のイメージキャラクターとして

小泉今日子氏を採用

■ **導入実績のアピール**

業種・業態に合わせた導入事例の訴求を強化

■ **新規コンテンツ「デジマケ女子部」の開設**

「おカタいITの世界をやわらかく紐解く」をテーマに、

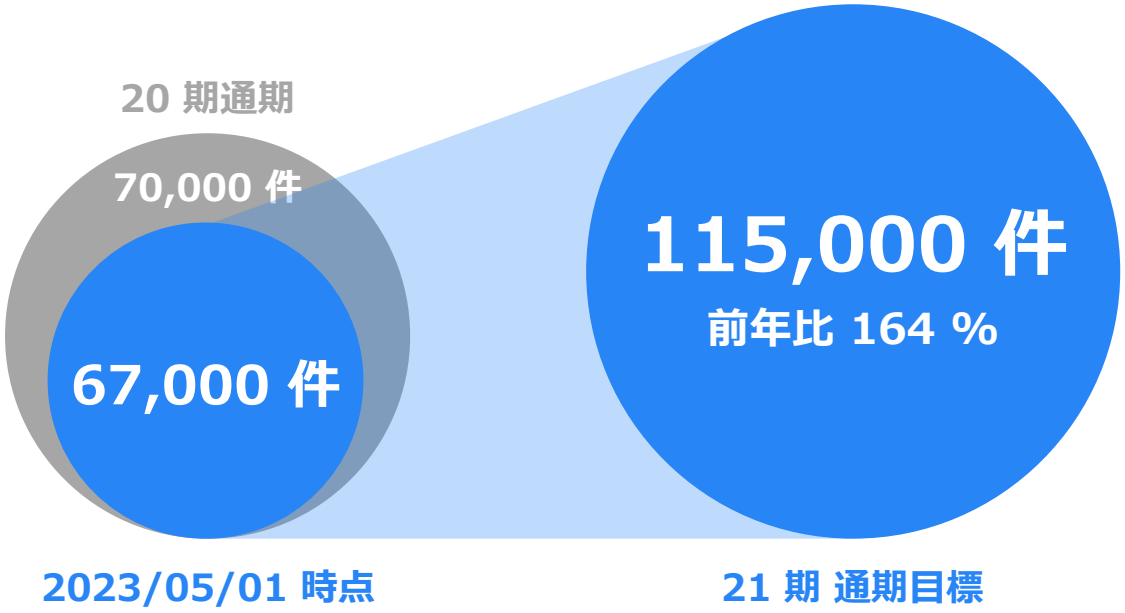
IT業界のトレンドや知識をわかりやすく紹介

IBCを広く訴求するため、今後も順次強化を実施

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

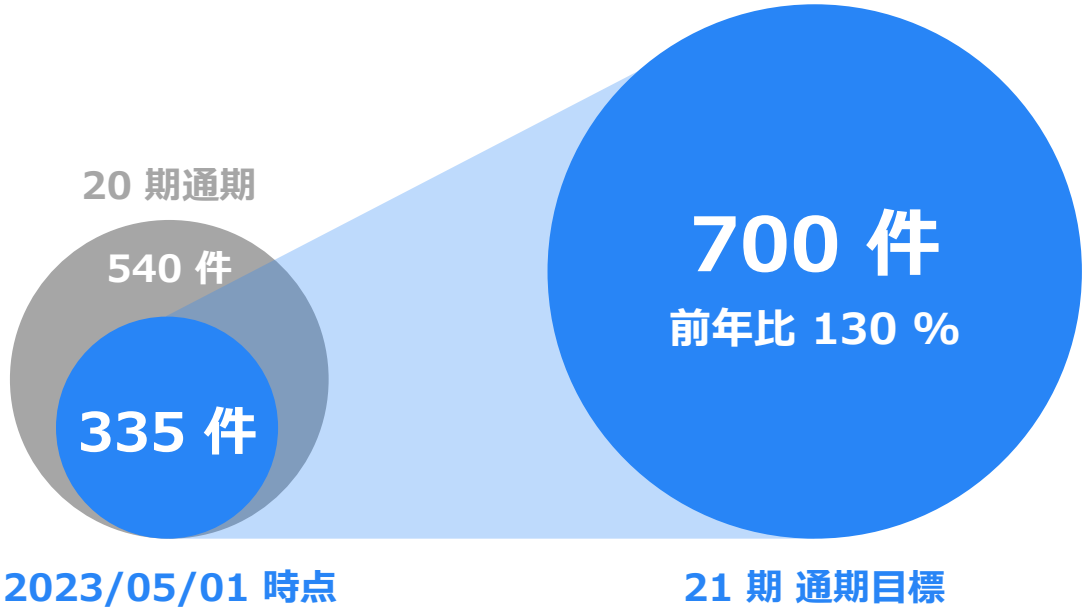
❸ ホームページの強化と効果

来訪者数



現時点で昨年の通期来訪者数をほぼ達成。

資料ダウンロード数



現時点で 20 期の通期ダウンロード数の過半数を達成。
通期目標である前年比 130 %に向け、今後更なるコンテンツの拡充を実施。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

3 第21期 業績予想

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

第21期 通期連結予想

（単位：百万円）

	22/9期 連結期間	23/9期 連結期間	前年同期比
売上高	1,501	**1,900**	+26.6%
営業利益 （利益率）	△48 (−%)	**200 (10.5%)**	−
経常利益 （利益率）	△22 (−%)	**220 (11.6%)**	−
親会社株主に帰属する 当期純利益 （利益率）	△17 (−%)	**147 (7.7%)**	−
配当	4.0円	**未定**	−

- 売上については、上期に「System Answer シリーズ」の機能拡張を機とした既存顧客へのサポート強化等の施策が功を奏し、当初見込より+135百万円となる前期比+26.6%の1,900百万円を想定。今後も「System Answer シリーズ」のライセンス販売による事業拡大を図るとともに、ITシステムインフラのコンサルティングやソリューションサービスの提供、さらにマーケットの変化に対応したサービスを積極的に展開することで、事業領域の拡大を行う。
- 物価高対応や中長期的な成長に備えた給与等水準引き上げ、当社主力製品機能強化等に係る投資に加え、デジタルマーケティングの強化・実施費用等で前期比約65百万円の販管費増を見込むが、営業利益については当初見込より+100百万円の200百万円を想定。配当については下期進捗状況を踏まえて決定予定。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

Appendix

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

会社概要

MISSION

IT 障害をゼロにする

VISION

IT 活用で永続的に成長し、事業・社会へ貢献する

■イメージキャラクター：小泉今日子

社　名	**アイビーシー株式会社** IBC : Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
所在地	**【本社】** 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル8F **【西日本事業所】** 大阪府大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル3F
上場区分	東京証券取引所　スタンダード市場（証券コード：3920）
設　立	2002 年 10 月 16 日
資本金	443,230 千円 (2022 年 9 月 30 日現在)
代表者	代表取締役　加藤 裕之
事業内容	1）IT システム性能監視ツールの開発 / 販売 / サポート 2）IT システムの性能評価サービス 3）IT システムの設計・構築、コンサルティング 4）IoT 電子証明セキュリティ基盤の開発 / 提供 5）各種機器、ソフト販売

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

IBCの理念

ミッション、ビジョンの実現に向けて

技術と成長領域に関する展開

これまで培ってきた予兆検知・情報管理・将来予測のノウハウを活かし、AIやデータアナリティクスの領域にも手を広げ、あらゆるデータを組み合わせてIT障害を未然に防ぎます。お客様に求められる製品・サービスを展開していくため、パッケージソフトウェアのSaaS化を進めてまいります。

DX に関する展開

ソフトウェアライセンス販売による1,000社以上の導入実績の顧客基盤をもとに、DX支援（ネットワークインテグレーション、クラウドインテグレーション、システムインテグレーション、コンサルティング）のサービスを拡充してまいります。

運用サービスに関する展開

System Answer シリーズのSaaS型モデルである「SAMS」のプラットフォームをより拡大させ、お客様のセキュリティ管理やコスト管理に対する課題にも取り組んでまいります。

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

IBC グループ

株式会社サンデーアーツ Sunday （100%子会社）

NSD 先端技術研究所 （持分法適用関連会社）

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

株式会社サンデーアーツ（100%子会社）

株式会社サンデーアーツ
Sunday

2019年4月に簡易株式交換により完全子会社化
最先テクノロジーによるシステム開発を行っている

ブロックチェーン開発事業	AI開発事業
RPA開発事業	ソフトウェア開発事業
システムエンジニアリングサービス（SES）事業	パッケージソフトウェア開発、販売事業

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

株式会社NSD先端技術研究所（持分法適用関連会社）

AI、IoT等の先端技術を活用した研究開発・サービスを創出

出資先概要

- ◆ 設立　2019年4月1日
- ◆ 代表者　黄川田 英隆
- ◆ 資本金　資本金100百万円
- ◆ 親会社　株式会社ＮＳＤ本社（代表取締役社長　今城 義和、東証プライム市場）
- ◆ 2019年4月25日出資
- ◆ 議決権所有割合（20%）の持分法適用関連会社　非常勤役員1名派遣

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.

お問い合わせ窓口

本 社

〒 104-0033
東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル 8F
TEL：03-5117-2780　FAX：03-5117-2781

西日本事業所

〒 532-0004
大阪府大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル 3F
TEL：06-7653-1014　FAX：050-3473-4160

URL

コーポレートサイト → https://www.ibc21.co.jp/
ソリューションサイト → https://system-answer.com/

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。
本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

アイビーシー株式会社　コーポレートサービス統括部
TEL:03-5117-2780
https://www.ibc21.co.jp/contact/ir/

© IBC Co.,Ltd. All rights reserved.